

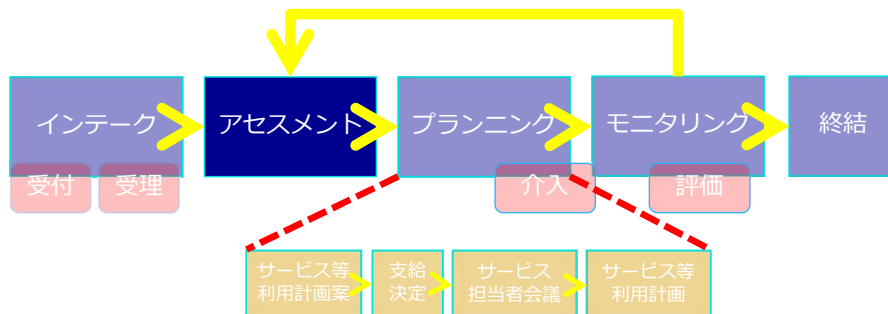
インターバル実習 説明資料

◎ニーズ整理表についての説明 （新カリキュラムから導入）

地域生活支援センター天花
藤田 利江

§2 アセスメント（情報の収集と分析）

演習1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術



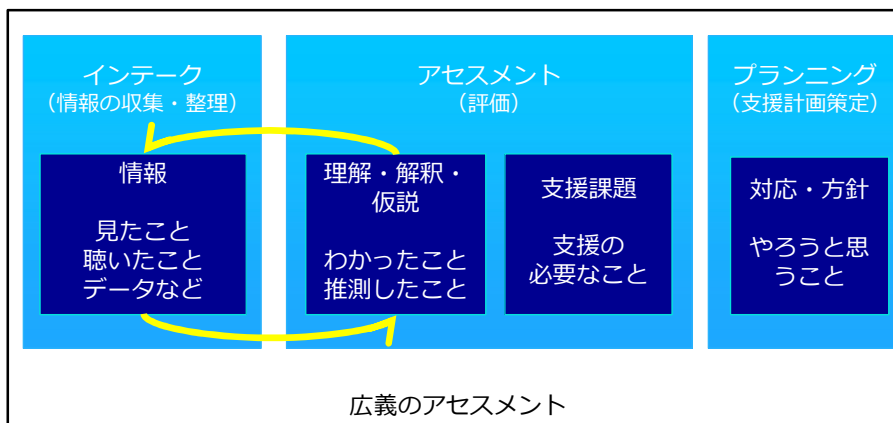
復習 アセスメントの留意点①

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術

ニーズ整理

- ・ 本人の意思表示、客観的状況、支援者や周囲の判断を分けて考える。
(基本は本人の言葉や、選んだこと、好きなことから始まる)
- ・ **援助者（自分）の判断の根拠**を可視化、言語化する。

ニーズ整理



近藤直司

『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』

ニーズ整理のポイント

① 「見立て」ができるようになるろう。

支援者自身が a.どのような情報を得て、b. どのような解釈をし、c. どのような方針をたてるか。

② アタマの中を整理できるようになるろう。

- ・ 事実 本人の意思、客観的事実
- ・ 自分の考え 自分の解釈
自分の支援方針

普段自分のアタマの中で、同時並行処理していることを…可視化し、整理する

③ 「手だて（プランニング）」は一旦置いておこう。

対応から入らず、本人の言葉・本人の（深めた）理解からはじめる。

ニーズ整理① 本人の希望をおさえよう

インテーク
(情報の収集・整理)

情報

見たこと・聴いたこと・データなど

本人の希望

赤

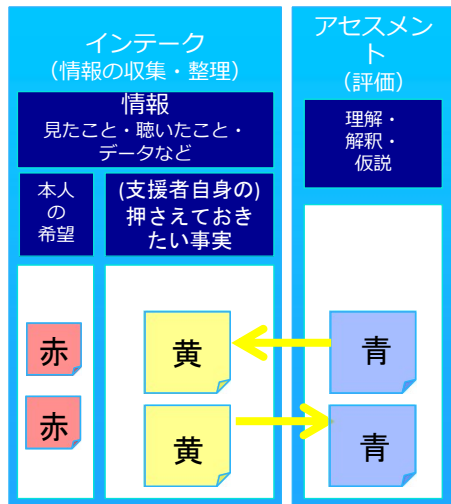
赤

もう一度事例を読み込みます。

- ① 本人の意思や希望を赤いふせんに書き出します。
(そのままの言葉で)
★ 1項目に1枚のふせん

【再確認】

ニーズ整理② 「見立て」てみよう



アタマの中を可視化します。

・事実や情報を**黄色のふせん**に書き出します。わかったこと（理解、解釈）、仮説などを**青のふせん**に書き出して整理します。

ふせん1枚に1つ書いてください。

【30分】

ニーズ整理票 (例)

近藤直司

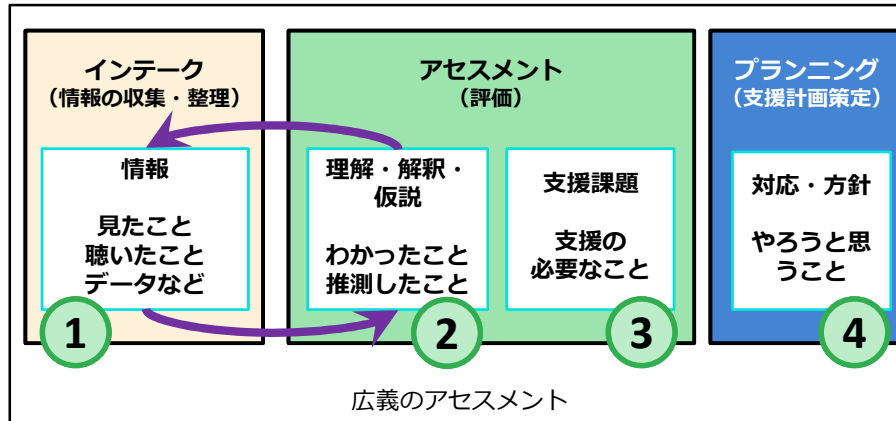
『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』（明石書店）を改変

8

インタビュー		アセスメント			プランニング
情報の整理 (見たこと・聴いたこと・事実)	情報の整理 (見たこと・聴いたこと・事実)	理解・解釈・仮説 (作成者のとらえかた、解釈・推測)	理解・解釈・仮説② (専門的アセスメントや他者の解釈・推測)	支援課題 (支援が必要と作成的な点)	対応・方針 (中核的かやうと要すること)
本人の希望・解決したい課題	(作成者の)あさえておきたい情報	生物学的こと			
		心理学的こと			
		社会的・対人関係の特性			
		環境			

今回大づかみに捉えた本人像(100文字程度で要約する)

ニーズ整理の方法（１）

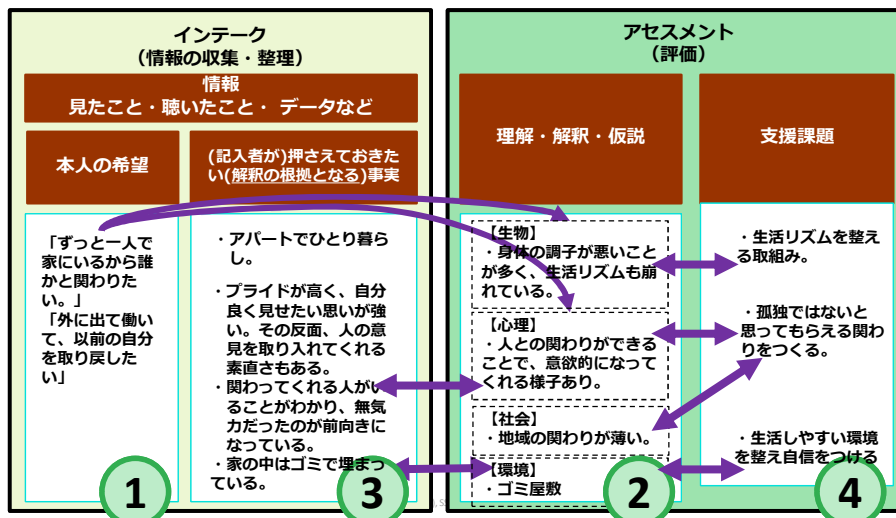


近藤直司

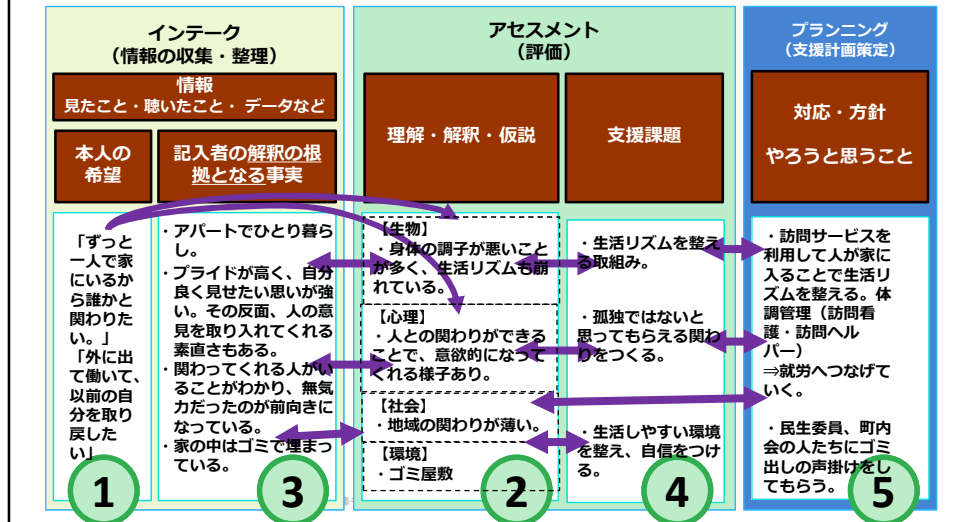
『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』（明石書店）を改変

新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修), 55A2018-2019(c) 不許複製

ニーズ整理の方法（２）



ニーズ整理の方法（3）



インターバル実習の最大のねらいは

地域の相談支援事業所とつながる ことです！

受講生が相談支援専門員になった時に、
 つながりを活かして仕事ができるように。
 みなさんとのつながりが支えになります。